
第21期 定時株主総会 事業報告動画および質疑応答（要旨）公開のお知らせ

2026年3月25日に開催いたしました当社第21期定時株主総会の事業報告動画および質疑応答（要旨）を以下のとおり公開しましたので、お知らせいたします。

【事業報告動画】20260325 ユナイトアンドグロウ株式会社 株主総会 事業報告動画
公開 URL <https://youtu.be/sivrTT1zMuY>

【質疑応答（要旨）】

<事前質問>

Q 1. 業績が株価に反映されていないのは、株主だけでなく会社にとっても社員のモチベーション向上や買収防衛、採用力の観点などからリスクではないか。

A 1. （須田取締役）

潜在価値が株価に反映されていない点は、一定のリスクであると受け止めている。今後も、当社事業の拡大に注力し「持続的に成長する企業」であることを、より積極的に発信し続けていく。

Q 2. 手元流動性が厚くなり内部留保も蓄積されてきているが、成長への投資や M&A 等により成長を加速させるのか、あるいは市場評価が低い現状に鑑み、自己株式の取得といったより直接的な株価対策・還元拡充を検討する余地はあるのか。

A 2. （須田取締役）

ROE20%程度という高い収益性により、手元流動性が積みあがっている状況だと認識している。当社事業の成長投資を継続しつつ、株価対策や還元拡充についても、機動的に検討していきたい。

Q 3. 2025年10月31日に創業者より従業員に無償贈与された株式において、売却制限等はあるのか。また保有状況等を確認する予定はあるのか。

A 3. （須田取締役）

売却制限については、贈与契約で2年間の譲渡制限を設けている。保有状況については、株主名簿を通じて定期的に確認できる状態である。当然ながら、役職員としてインサイダー取引防止規程などの法令・社内売買ルールの遵守を徹底している。

<来場者質問>

Q 1. 生成 AI の普及による企業の内製化ニーズの高まりは、当社にとって追い風になると考えるが、どのように捉えているか。

A 1. (須田取締役)

当社サービスの本質は顧客先における「IT 利活用」のサポートであり、IT 業界において極めて不可欠な仕事であると考えている。当社にとって AI の普及は、当社業務の需要が高まる大きなチャンスであると認識している。現在では、ほぼ全ての案件で AI 活用が常態化しており、今後は AI 活用への取り組みを積極的にアピールしていく。

Q 2. 社員が顧客先で業務を行っているが、会社への帰属意識が希薄化することはないか。また、顧客先に引き抜かれることはないのか。これらを防ぐためにどのような対策を講じているか。

A 2. (高井取締役)

独自の研修やさまざまな交流の仕組みで「つながり」の文化を醸成し、帰属意識を浸透させている。また、引き抜き対策については、顧客との契約及び就業規則の両面において、引き抜きや転籍を禁止としている。

(須田取締役)

IT 担当者は、経験を積むために転職を繰り返す傾向があるが、当社は正社員のまま多様な現場を経験できるビジネスモデルであるため、転籍や離職の抑制につながっている。また、社員間で知見を共有し、互いに高め合う文化が醸成されており、人材流出を防ぐ強みとなっている。

Q 3. 日々進化する AI に関する情報をどのようにキャッチアップし、社員間で情報共有を行っているのか。

A 3. (齋藤取締役)

現場での実践、社内のコミュニケーションツール活用による最新技術情報や事例共有、外部講師による研修などを通じて、AI の最新動向を共有する体制を整えている。利活用とセキュリティの両面において、社内ですべての研鑽を積み対応をしている。

Q 4. 中堅・中小企業向け IT サービスを提供している企業数、当社の立ち位置、及び主要な競合企業の状況を知りたい。

A 4. (須田取締役)

国内の IT 関連サービス・製品を提供する企業は約 2 万社と言われており、その多くは特定の製品開発・販売、あるいはシステム受託開発を主業としている。当社は特定の製品販売や受託開発は行わず、「人」と「知識」の供給に特化した事業形態であり、極めて稀である。そのため、実質的に直接競合する企業はほぼ存在していない。当社は特定の IT ベンダーと利害関係を持たず、中立的な立場で独自のポジションを確立していることが、具体的な競合他社を特定し得ない理由である。

<当社の持続的成長と資本市場での評価向上に関するご意見>

東証からの要請である時価総額 100 億円は、当社にとってはあくまで通過点であると認識している。一方で、利益成長と PER 向上の双方を達成する計画に対し、現状の延長線上にある施策のみでは、投資家による PER の見直しは期待しにくく、株価評価を大きく変化させる契機とするためには、相応の変化を対外的に示す必要がある。生成 AI 活用の発信など、今後は、投資家から高く評価されるような変化を積極的に示してほしい。

【会社概要】

社名 ユナイトアンドグロウ株式会社
所在地 東京都千代田区神田駿河台 4 丁目 3 番地 新お茶の水ビルディング 3 階
設立 2005 年 2 月
代表者 代表取締役社長 須田 騎一郎
URL <https://www.ug-inc.net/>
事業内容 コーポレート IT 部門の業務支援事業

【本件に関するお問い合わせ】

ユナイトアンドグロウ株式会社 IR 担当
ウェブ受付 : <https://www.ug-inc.net/contact>